

北陸の主要病院

手術実績  
最新ランキング

日本人の4大死因であるがん、心臓病、肺炎、脳疾患。反響を呼んだ北陸3県の主要病院手術実績ランキングの第2弾は死亡率の高い脳疾患と肝臓がん、乳がん、食道がんについて取り上げます。

●調査の方法

2014年12月から今年2月にかけて、北陸3県の200床以上の病院を対象に、2013年1年間の手術件数などについてアンケートを実施し、35医療機関(石川19、富山11、福井5)から回答を得ました。

アクタス編集室は病院の実力を押し量る目安として、北陸3

県の200床以上の病院に対し、がん、心臓病、脳疾患の年間手術件数について独自にアンケートを実施しました。

このうち、肺、胃、大腸がんの3大がんと心臓病の手術件数を2月号に掲載し、多くの読者から好評を頂きました。今回は脳腫瘍、脳動脈瘤と、男性の死亡数が3大がんに次いで多い肝臓がん、女性がかかるがんで最も多い乳がん、治療が極めて困難ながんの1つとされる食道がんの調査結果を紹介します。

「北陸の最後の砦」の底力

回答を得た医療機関の中で、脳腫瘍と肝臓がん、食道がんの

年間手術件数が最も多かったのは金大附属病院でした。

これらの疾患はいずれも、難しい症例が多いことで知られます。肝臓がんと食道がんは早期発見が難しく、かなり進行した状態で見つかるケースが少なくありません。脳腫瘍は、神経細胞が密集した人体の中で最もデリケートな部位に発生します。

このため、手術中のごくわずかな手元の狂いで中枢神経を傷つけ、重大な後遺症を引き起こす恐れがあります。金大附属病院には他の医療機関から手術や治療が困難であるとして転院してくる患者も多く、北陸3県の医療機関の「最後の砦」と位置づけられる同病院の底力を示すデータといえます。

脳腫瘍、上位に各県大病院

このうち脳腫瘍では、ランキン

【脳疾患】

執刀中、患者と会話「覚醒下手術」金大が積極実施

脳疾患手術の中でも、医師の間で特に厄介といわれる脳腫瘍と、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤の開頭手術件数について調べました(34ページにランキング表)。

このうち脳腫瘍では、ランキ

ングの1位から4位までを3県の各大病院が占めています。脳腫瘍の治療には他の疾患以上に高度な専門知識と技術、整った設備が求められ、神経内科や眼科、耳鼻咽喉科、整形外科、麻酔科、放射線科など幅広い診療科との連携が必要であることが影響しているとみられます。

脳腫瘍は、活発に増殖し進行が早い「悪性」と、進行の遅い「良性」に分けられます。良性であっても大きくなると脳が圧迫されて頭痛や吐き気とともに意識や運動、言語機能、視野などに障害が生じ、放っておくと命にかかわることもあります。治療は摘出手術が第一選択となります。手術でどれだけ腫瘍を取り除くことができるかが、再発率や治癒率を左右するので

す。

ひと口に脳腫瘍といっても100種類以上に分類され、発生した部位などによって治療の難度は変わってきます。脳の外側に位置し、外部の衝撃などから脳を守る役割を持つ硬膜から

肝臓、食道がん、脳腫瘍は金大  
乳がんは富山県中央  
脳動脈瘤は福井大が首位

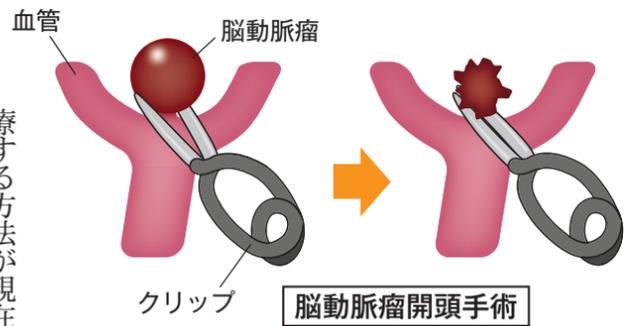
発生する「髄膜腫」などは比較的切除がしやすいとされます。

一方、脳腫瘍の約25%を占める悪性神経膠腫（悪性グリオーマ）は脳の比較的深い部分に発生し、腫瘍細胞が周囲の健康な脳組織に染みこむように急速に広がります。正常の細胞と脳腫瘍の境界がはっきりせず、治療が最も難しい腫瘍の1つです。

### 意識あるが痛み感じず

ランキングトップの金大附属病院脳神経外科では、この悪性神経膠腫の手術を年間40〜50件程度行っています。

手術中、一時的に患者を麻酔から覚まし、患者と会話を交わしながら手術を進める「覚醒下手術」を積極的に実施しています。患者は意識はあるが痛みを感じず、言語や運動機能を司る神経などに異常がないか確認しながら手術することができます。この手術法を取り入れている医療機関は北陸でもごく限られており、新潟、岐阜県などからも患者が訪れています。



療する方法が現在、2種類あります。

1つは、開頭して脳動脈にできた瘤の根本をチタン合金製のクリップではさみ、瘤の中に血液が入らないようにする「開頭手術（クリッピング術）」です。治療の歴史も古く、根治性の高さが最大の特長です。現在、脳動脈瘤治療の約7割は開頭手術で行われています。

### 福井大、県外からも患者

北陸3県での開頭手術件数は

再発を予防あるいは遅らせる目的で、手術後に放射線治療と抗腫瘍剤や腫瘍細胞を狙い撃ちする分子標的治療薬を使った化学療法を併用しています。

金大附属病院脳神経外科は1966（昭和41）年に金大医学部第1外科から独立して誕生し、全国の医療機関の脳神経外科の中でも有数の歴史を持ちます。

今回のアンケートの対象期間である2013年当時は濱田潤一郎教授が治療チームの中心となっていました。同教授は同年10月に死去し、現在は昨年12月に4代目教授となつた中田光俊氏が治療チームを率いています。

### 浅ノ川、放射線で高い実績

ランキング8位の浅ノ川総合病院は、今回の調査項目にはな

福井大附属病院がトップにランクされました。同病院脳脊髄神経外科には福井県外からも多くの患者が訪れています。手術中に蛍光血管撮影で血流の異常の有無を確認し、さらに脳に微弱電流を流して運動機能や視神経などに障害が起きていないか確かめながら手術を進めています。脳動脈瘤のもう1つの治療法

は、太ももの付け根からカテーテルと呼ばれる細い管を入れて脳動脈瘤まで到達させ、プラチナ製のコイルを瘤の内側に詰める「血管内治療（コイル栓塞術）」です。開頭手術に比べて身体への影響が少ないメリットがある反面、比較的大きな脳動脈瘤などには対応できません。

い放射線治療で高い実績を上げています。放射線を腫瘍だけに集中して当てることのできる治療機器「ガンマナイフ」と「ノバリス」を

北陸3県で唯一備えており、外科手術が困難な脳の深部にできた腫瘍に対しても威力を発揮しています。脳腫瘍の治療だけでガンマナイフ、ノバリスを合わせて年間

300件近くの症例を手掛けており、手術と遜色のない治療成績を挙げています。

### 脳動脈瘤治療、7割が開頭術

脳腫瘍と並んで高度の治療技術が必要とする疾患が脳動脈瘤です。脳動脈瘤とは脳の血管の一部にできる、風船のようにふくれた部分のことで、破裂すれば「くも膜下出血」につながり

## 脳疾患

医療機関名	脳腫瘍手術件数	脳動脈瘤開頭手術件数	うち破裂	うち未破裂	所在地
1 金大附属病院	93	20	5	15	金沢市
2 金沢医科大学病院	62	11	9	2	内灘町
3 福井大附属病院	58	39	9	30	福井県永平寺町
4 富大附属病院	42	17	7	10	富山市
4 富山県立中央病院	42	28	—	—	富山市
6 福井県済生会病院	28	13	4	9	福井市
7 福井赤十字病院	25	30	12	18	福井市
8 浅ノ川総合病院	21	6	5	1	金沢市
9 福井県立病院	13	16	13	3	福井市
9 富山赤十字病院	13	12	7	5	富山市
9 金沢医療センター	13	9	2	7	金沢市
12 石川県立中央病院	10	26	21	5	金沢市
13 黒部市民病院	9	19	12	7	黒部市
14 厚生連高岡病院	7	11	10	1	高岡市
15 富山市民病院	5	12	8	4	富山市
15 小松市民病院	5	8	8	0	小松市
17 金沢医科大学氷見市民病院	4	5	5	0	氷見市
18 金沢病院	3	6	6	0	金沢市
18 金沢市立病院	3	9	7	2	金沢市
18 恵寿総合病院	3	4	1	3	七尾市
21 加賀市民病院	2	1	1	0	加賀市
22 公立能登総合病院	1	15	14	1	七尾市
22 公立松任石川中央病院	1	2	2	0	白山市
24 富山労災病院	0	15	8	7	魚津市
24 金沢脳神経外科病院	0	10	8	2	野々市市

「—」はデータなし